

群馬大学将来像

～ 2040年に向けて ～

前文

群馬大学は、教員、医師をはじめとする医療専門職、技術者の専門人材を養成してきた歴史を背景として、情報社会の進展を受けて、あらゆる組織で活躍できる人材の養成機能を強化し、社会に送り出してきた。

デジタル技術の進歩が著しい昨今においては、高度情報化社会の実現、持続可能で再生可能な社会づくりなど、困難な諸課題の解決には幅広い学術分野で臨む必要があるため、分野融合・分野横断の教育研究組織を整備し、社会実装機能の強化にも努めているところである。

このたび、本学が目指す方向性を定める上で、2040年を一つのラインとしているが、国立大学としての使命を果たすべく、常に社会の変化に応じて人材を送り続けるとともに、研究の成果を社会に還元し続けることが責務である。

より豊かな未来社会に向け、群馬大学が、我が国及び地域の発展において不可欠な存在であり続けるために、ここに将来像を公表する。

2040年に目指す姿

【教育】学修者の意欲に応える教育を提供し、学修者が夢を育める大学

1. 学生の潜在能力を引き出し、社会で活躍するための基盤を築く教育を行います。
2. 学生支援体制を充実させキャリア形成を支援します。
3. 世界的なレベルで競争力を持ち、国内外の課題解決に貢献する人材を育成します。
4. データサイエンスを活用して社会を創造できる人材を育成します。

【研究】新たな価値を創造し、世界における持続可能な幸福の希求を実現する大学

1. 研究支援体制と研究環境を整備し、知的好奇心に満ちた優秀な研究者を養成します。
2. 学内での共同研究の展開を促進し、特色ある研究分野を創出します。
3. 学際的研究の推進による新しい学術分野を創出します。
4. 国内外での共同研究を推進し、地域貢献を目指しながら世界に発信する研究を展開します。

【社会貢献】地域の知の拠点として、多様なステークホルダーから頼られる大学

1. 地域における社会課題の解決のためのイノベーション・エコシステムを創出し、地域活性と地方創生を推進します。
2. 学部・大学院再編や様々な学びの場の提供により、地域に求められる総合知の創造を図ります。
3. 地域教育界との密接な連携による教員養成を目指します。
4. 地域に根差した高度先進医療の提供および医療教育拠点形成を推進し、地域住民の健康と福祉に寄与します。

【運営】社会の変化に柔軟に対応し、持続可能な社会を共創する大学

1. 多方面への広報活動により、大学ブランドを確立、成長させます。
2. ステークホルダーと共創し、地域の発展を牽引します。
3. 持続的・自律的な経営を行います。
4. 多様な教職員の強みを活かして教育研究等の活動を発展させます。

1. 学生の潜在能力を引き出し、社会で活躍するための基盤を築く教育を行います。

多様な学生を受け入れる体制を整備し、それぞれの学生が自己実現のために課題と目標をもって学びに向かえるよう個別最適な学習環境を整備し、学修成果を可視化するとともに教育の質保証を不断に行います。

専門的な学びだけでなく、分野横断的な学びや地域社会での課題解決的な学びを取り入れ、学びの多様化を図るとともに学修者の「主体的な学び」の質を高めます。



2. 学生支援体制を充実させキャリア形成を支援します。

インクルーシブ教育を推進するとともに、お互いの人権と尊厳を尊重し合いながら学ぶ多様な学生との共創が可能なキャンパス環境と学生支援体制を整備します。

多様な社会で活躍できる資質・能力を育成するため、教養・基礎レベルから専門レベルまできめ細かな教育を行い、卓越した学部・大学院教育を推進します。



3. 世界的なレベルで競争力を持ち、国内外の課題解決に貢献する人材を育成します。

本学と地域・自治体・企業・海外の大学等との組織的な連携により、高いリーダーシップを持ち、実践力・研究力を備えた専門職業人・研究者を育てます。

異文化の理解を深め、外国語によるコミュニケーション力を高める国際教育プログラムを展開し、国際社会の多様性を理解し国内外の社会問題の解決に貢献できる人材を育てます。



4. データサイエンスを活用して社会を創造できる人材を育成します。

数理・データサイエンス教育を全学的に展開し、学部・大学院で学ぶ様々な専門分野との掛け合わせにより、情報化社会における新たな価値の創造や課題解決に資する人材を育成します。



1. 研究支援体制と研究環境を整備し、知的好奇心に満ちた優秀な研究者を養成します。

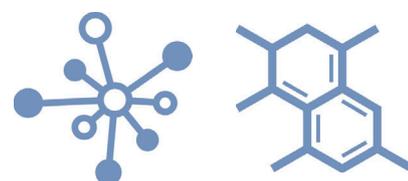
少子化や多様化する働き方の仕組みの検討を継続していくことで、研究者となることが魅力的に思えるようなキャリアパスの設定、教員の研究時間の確保や若手・女性・外国人等様々な立場に即した研究環境の整備を行います。

また、学内の知・人材・研究設備・スペースといった研究リソースの見える化と共有化を推進し、研究基盤の高度化・高機能化を推進します。若手教員、学部生・大学院生に積極的な支援を行うことで、知的好奇心に満ちた優秀な若手研究者の持続可能な養成・定着・輩出につなげていきます。



2. 学内での共同研究の展開を促進し、特色ある研究分野を創出します。

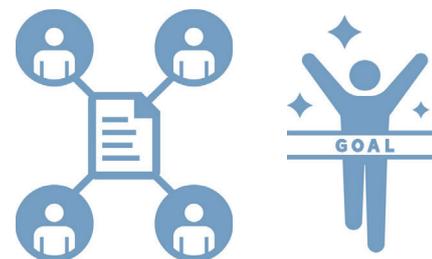
研究者がお互いの研究内容を発信・共有できるオープンアクセス体制などの学内プラットフォームを構築すること等により、研究基盤体制の強化や各分野の専門知を基盤とした分野横断的な共同研究の展開を促進し、本学の強みや特色を生かした研究分野を創出し、学内外に情報発信していきます。



3. 学際的研究の推進による新しい学術分野を創出します。

各分野のトップレベルの研究者集団同士が、自らの学問領域を越えた他分野の研究リソースとの融合によって学際的研究を推進し、新しい学術分野を創成します。

本学の特色でもあるがん、内分泌代謝、食健康科学、データサイエンス・AI技術、環境に配慮した材料・デバイス開発、パブリックヘルス、神経科学などの学内の複数の研究分野を有機的に融合させた新しい大学院又は研究組織を設置し、本学ならではの新しい学術分野を創出します。



4. 国内外での共同研究を推進し、地域貢献を目指しながら世界に発信する研究を展開します。

国内外の大学・研究機関・企業との共同研究による学術・産学連携を推進するとともに、本学の研究成果のオープンアクセスを推進し、地球・地域規模での課題解決や社会に変革をもたらすイノベーション創出と地域産業の活性化を目指し、人類と地球の持続的な幸福の実現に貢献します。



1. 地域における社会課題の解決のためのイノベーション・エコシステムを創出し、地域活性と地方創生を推進します。

群馬県をはじめ地域における社会課題の解決による価値創造や持続的な産業振興、雇用の創出を実現するために、産学官の共創による研究拠点を形成し、理工学、医科学、データサイエンスの融合によるイノベーション・エコシステムの構築を目指します。また、本学の学術情報をオープンアクセス化することにより、学生や国内外へ広く公開し、学術研究の更なる発展や社会課題の解決を目指します。

理科体験教室、がんの啓発講演会、ダイバーシティ&インクルージョンに関する取り組みなどを通じて、地域の小中高校生や住民を含む多様なステークホルダーに対して積極的な社会貢献活動を行い、地域とともに成長しつづける大学を目指します。



2. 学部・大学院再編や様々な学びの場の提供により、地域に求められる総合知の創造を図ります。

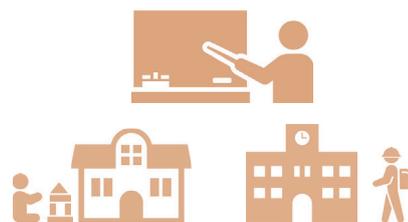
学部や研究科の連携による学位プログラムや研究科の設置・再編を通じて、デジタル分野をリードする高度専門人材の育成や、地域のニーズに応えた様々な分野の人材の養成、さらに社会課題の解決を可能にする分野横断的な総合知を提供し、地域の活性化に貢献します。

社会構造の変化に伴う多様な分野やレベルでの学び直しのニーズに応え、リカレント教育や公開講座の拡充を進めます。また、将来の有望人材を発掘するために高校と連携するなど、すべての人に開かれた学びの場と生涯学習の機会を提供します。



3. 地域教育界との密接な連携による教員養成を目指します。

少子化が進む中でも、教育の担い手となる教員養成は重要となります。変化する教育現場の課題やニーズを的確に捉え、学部、大学院教育学研究科、附属学校園、他学部等が連携した教員養成の質保証を行うとともに、大学と群馬県内外の地域教育界との連携・協働による持続的・発展的な教員養成システムの構築・運用により、地域の教育を支えていきます。



4. 地域に根差した高度先進医療の提供および医療教育拠点形成を推進し、地域住民の健康と福祉に寄与します。

地域の拠点病院としての機能をさらに深化・拡充し、安全・安心な医療を目指し、AIの活用、ビッグデータ解析を通じた個別化医療の推進を図り、高度先進医療を提供します。また、がんの予防・治療の強化、災害や未知の感染症、慢性疾患への対応を通して患者の生活の質を向上させます。そして、地域医療に根差した医療ニーズに対応できる人材を育成し、群馬県内外の医療機関への人材派遣にも尽力します。

臨床研究や創薬のみならず、医療政策における患者・市民参画を積極的に推進し、医療教育拠点を担います。



1. 多方面への広報活動により、大学ブランドを確立、成長させます。

国内外に向け、本学の特色ある取組や成果を最大限に発信できるように、積極的な広報活動を充実させます。

また、所有する施設や設備の有効な活用や、新たな大学院を通し、多方面で本学とのつながりを広げ、魅力を効果的にアピールすることで、群馬大学ブランドを確立、成長させます。



2. ステークホルダーと共創し、地域の発展を牽引します。

多様な関係者との対話を重ねることで、あらゆる面からの課題や要望を取り入れ、ステークホルダーとともに課題解決に向けた活動を推進し、社会からの期待と信頼に応えます。

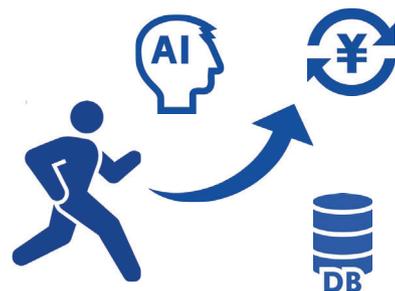
地域の自治体、企業、住民との連携を強化して、産業、医療、教育等、地域が抱える多様な課題の解決につなげ、地域の発展を牽引する拠点となります。



3. 持続的・自律的な経営を行います。

蓄積されたデータを利用したIR機能の戦略的な活用や、AI活用の推進による事務職員をはじめとした業務改善、学内の連携強化に基づく組織的な対応により、教育研究等活動の価値の創出と普及を強化し、寄附金や外部資金等の多様かつ安定的な財源確保と効率的な運用を実行します。

エビデンスと分析に基づく意思決定により、社会変化に柔軟に対応できる持続的・自律的な経営を行い、強固なガバナンス体制を構築します。



4. 多様な教職員の強みを活かして教育研究等の活動を発展させます。

働き方改革や組織改編に取り組み、全ての職種において、国籍、年齢、性別の区別がなく多様な価値観の下で、教職員の誰もが強みを発揮して活躍できる環境を整備します。

公正で透明性の高い適切な評価を行い、モチベーションの向上と専門性の強化につなげ、多様な価値観・専門性・組織の教職員が尊重し合うことで、誇りを持ち、手を取り合い一丸となって教育研究等の活動を発展させていきます。

